

# 山香荘のこれからは？

町長 指定管理を検討している



吉原美智恵 議員

山香荘の経営実態は、厳しい。現在では、陸上やサッカーの合宿場所として使われ

地域活性化の拠点施設であるので、国をあげて力を入れて

現在、町の管理下になり、維持管理費がさらに必要となる見込みである。

当初は、コンサートなどのイベントや、りんどマラソンも開催され、地域の活性化に貢献していた。

約30年である。現在は、スポーツ合宿の活用がほとんどである。

地域休養施設 山香荘は、築

## 答

町長

「子ども農山漁村交流プロジェクト」を検討してみてもどうか。



↑使われない野外コンサート場

ている。

平成19年度から3年間、指定管理者制度の活用で再生を図ったが、状況の改善は見られなかった。

今後の活用策として、県のサッカー協会が提案している、10年プランの検討を進めている。

スポーツ振興を通じた町の活性プランが提案されており、年間3万人くらいの利用者が見込まれている。

地域活性化に向けて、各種団体、関係地域と力を合わせていき

# 財政の健全化と予算編成は？

町長 将来にツケを残さない

## 問

地方分権時代を迎え、行政の責任と役割が問われている。

近年、産業構造の転換と国の財政問題は、地方行政に多大な影響を与えている。

この1、2年は、交付税の順調な配分もあり、数字上では危機的状況にはないが、自主財源が25%を切っている。

現状を考えると、財政の健全化に向けた取り組みの強化が必要ではないか。

## 答

町長

また、これから予算編成の時期である。貴重な財源で、効果的な行政サービスの提供ができる仕組みの構築は考えているか。

現在、国民のくらしを担う地方公共団体では、健全な財政を維持する経営能力が問われている。

平成21年度決算での本町の健全化判断比率は、全ての指標

が「健全化段階」となっている。

将来にわたって、健全で安定的な財政基盤を確立するため、事業の根底に立ち返った見直しや「選択と集中」による効率的な行財政運営を推進していく。

予算は、現在1件ずつ査定しており、緊急性や重要性を考慮しながら優先順位を決め、将来にツケを残さない方針で行っている。



↑効率的な行財政運営を